



## 平成 21 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 21 年 1 月 8 日

上場会社名 カップ・クリエイト株式会社 上場取引所 東証第 1 部  
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳山 桂一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 中井 鉄太郎 TEL (048) 650-5100

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 21 年 2 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 11 月 30 日)

当社は、前連結会計年度において、決算期を毎年 5 月末日から毎年 2 月末日へ変更したため、9 ヶ月の変則決算となり、前年第 3 四半期財務・業績の概況の発表を行っておりません。このため、前第 3 四半期の実績並びに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	57,727	—	4,138	—	4,214	—	1,734	—
20年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
20年2月期	50,085	—	2,483	—	2,526	—	1,316	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	81	01	74	40
20年2月期第3四半期	—	—	—	—
20年2月期	56	75	52	46

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期第3四半期	63,791		20,149		31.4	1,081	24	
20年2月期第3四半期	—		—		—	—	—	
20年2月期	53,667		27,725		51.7	1,190	36	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第3四半期	5,716		△ 6,903		3,329		11,926	
20年2月期第3四半期	—		—		—		—	
20年2月期	3,834		△ 1,516		△ 3,585		9,784	

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
平成 20 年 2 月期	—	—	20	00	20	00
平成 21 年 2 月期(実績)	—	—	—	—	—	—
平成 21 年 2 月期(予想)	—	—	35	00	35	00

3. 平成21年2月期の連結業績予想(平成20年3月1日～平成21年2月28日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	77,900	—	4,870	—	4,830	—	2,110	—	101	98

(注)平成20年2月期は、決算期変更による9ヶ月の変則決算となるため、通期業績の増減率は記載していません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う) : 有  
 特定子会社の異動)  
 新規 1社 除外 1社
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(参考)個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年2月期第3四半期の個別業績(平成20年3月1日～平成20年11月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	56,383	—	4,134	—	4,186	—	1,794	—
20年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
20年2月期	50,085	—	2,466	—	2,476	—	1,234	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	83	84	77	00
20年2月期第3四半期	—	—	—	—
20年2月期	53	19	49	17

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
21年2月期第3四半期	59,757	—	20,098	—	33.6	1,085	40	
20年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	
20年2月期	53,678	—	27,741	—	51.7	1,191	06	

2. 平成21年2月期の個別業績予想(平成20年3月1日～平成21年2月28日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	75,400	—	4,820	—	4,800	—	2,110	—	101	98

(注)平成20年2月期は、決算期変更による9ヶ月の変則決算となるため、通期業績の増減率は記載していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の広がりにより景気は後退局面に入りました。外食産業におきましても、外食機会の減少により競合他社・他事業との競争は一段と激しさを増しております。また、食の安全・安心の確保をはじめ、原材料価格の上昇など諸問題の影響を受けて、当社をとりまく経営環境は一層厳しいものとなりました。

このような状況下で当社グループは、引き続き既存店売上高の通増を目指し、作業の標準化と経営の効率化に向けて日々改善改革に取り組んでまいりました。業務全般におきましては、平成19年12月に業務改善委員会を発足させ全社横断の業務改善を可能にさせました。これにより各現場での問題点の「見える化」を進め、これを関係する全ての部署が一体となり、短時間で改善するということを継続的に推進することが出来るようになりました。

店舗における重要課題といたしましては引き続き従業員教育と考え、教育店舗での現場研修や定期集合研修において店舗オペレーションの標準化やサービスレベルの向上に注力し、店舗の総体的レベルの更なる向上に努めてまいりました。定期集合研修におきましては教育の裾野をパート従業員にまで広げ、更なる店舗営業レベルの向上に努めてまいりました。また、お客様満足を得るためには従業員の満足が必要と考え、従業員の公正な評価を行うために業績評価を導入し社員の士気の高揚に努めてまいりました。

商品、仕入につきましては原材料価格は上昇傾向にあるものの、食材の加工方法の改善を行い食材のロスを最小限に抑えることにより原価率の上昇回避に努めてまいりました。昨今重要視されてきました食の安心安全につきましては、当社に設けられております品質管理室での検査の強化と新たな仕入加工ルートの開拓に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間において新規出店36店舗、閉店14店舗を行った結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は324店舗となりました。

なお、前連結会計年度において持分法適用の関連会社でありました株式会社エーエム・ピーエム・関西の株式を平成20年8月8日に追加取得し、連結の範囲に含めております。

また、当社グループと株式会社ゼンショーの間で締結しておりました資本業務提携について、平成20年8月14日にこれを解消する契約を締結いたしました。さらに当社グループが自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得を行ったところ、これに株式会社ゼンショーが保有株式の一部を売却したため筆頭株主ではなくなりましたが、これによる業績への影響はございません。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における業績は、売上高577億27百万円、経常利益42億14百万円となり、店舗閉鎖に伴う固定資産除却損4億27百万円、減損損失4億35百万円を含む特別損失9億98百万円の計上により四半期純利益17億34百万円となりました。

(注) 当社グループは、寿司事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、637億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億24百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が71億15百万円、有形固定資産が43億39百万円、投資その他の資産が19億13百万円増加、流動資産その他が32億42百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、436億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ176億99百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金及び一年以内返済予定長期借入金が131億77百万円、買掛金が15億64百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、201億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億76百万円減少いたしました。これは主に、自己株式が90億円、利益剰余金12億68百万円増加したことによるものであります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが57億16百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローが69億3百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローが33億29百万円増加した結果、前連結会計年度末より21億42百万円増加し、119億26百万円となりました。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動により増加した資金は、57億16百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益32億17百万円、減価償却費16億40百万円等の増加があったことによります。

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動により減少した資金は、69億3百万円となりました。これは主に、定期性預金の預入による支出140億円、有価証券の取得による支出10億円、有形固定資産の取得による支出46億42百万円等の減少、定期性預金の払戻による収入90億26百万円、有価証券の償還による収入50億円等の増加があったことによります。

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動により増加した資金は、33億29百万円となりました。これは主に、長期借入金による収入162億円等の増加、長期借入金の返済による支出38億66百万円、自己株式取得による支出90億円等の減少があったことによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成20年10月6日発表の通期の業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 1社

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金計上基準等について、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

将来の株主優待券の利用による費用の発生に備えるため、株主優待券の利用実績率に基づいて、当第3四半期連結会計期間末日以降に発生すると見込まれる額を計上しております。

株主優待費用は、従来、優待券利用時に販売費及び一般管理費として処理をしておりましたが、株主数の増加に伴い株主優待券の発行数が増加したこと、及び、利用実績率の把握が可能となったことから、前中間連結会計期間より、中間連結決算日以降に発生すると見込まれる株主優待費用の額を株主優待引当金として計上することと致しました。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、販売費及び一般管理費が 26,000 千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成20年2月期〕 第3四半期末		当四半期末 〔平成21年2月期〕 第3四半期末		増 減		(参考) 前期末 (平成20年 2月期末)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>							
<b>I 流動資産</b>							
1. 現金及び預金	-	-	21,926		-	-	14,810
2. たな卸資産	-	-	633		-	-	647
3. その他	-	-	2,647		-	-	5,889
流動資産合計	-	-	25,206	39.5	-	-	21,347
<b>II 固定資産</b>							
1. 有形固定資産	-	-	25,222		-	-	20,882
2. 無形固定資産	-	-	227		-	-	216
3. 投資その他の資産	-	-	13,134		-	-	11,221
固定資産合計	-	-	38,584	60.5	-	-	32,319
資産合計	-	-	63,791	100.0	-	-	53,667
<b>(負債の部)</b>							
<b>I 流動負債</b>							
1. 買掛金	-	-	3,581		-	-	2,016
2. 一年内償還予定新株予約権付社債	-	-	10,000		-	-	-
3. 一年内返済予定長期借入金	-	-	6,483		-	-	3,475
4. その他	-	-	6,722		-	-	3,646
流動負債合計	-	-	26,786	42.0	-	-	9,139
<b>II 固定負債</b>							
1. 新株予約権付社債	-	-	-		-	-	10,000
2. 長期借入金	-	-	16,053		-	-	5,884
3. その他	-	-	801		-	-	918
固定負債合計	-	-	16,854	26.4	-	-	16,803
負債合計	-	-	43,641	68.4	-	-	25,942
<b>(純資産の部)</b>							
<b>I 株主資本</b>							
1. 資本金	-	-	9,551		-	-	9,545
2. 資本剰余金	-	-	8,566		-	-	8,560
3. 利益剰余金	-	-	10,940		-	-	9,672
4. 自己株式	-	-	△9,053		-	-	△53
株主資本合計	-	-	20,005	31.4	-	-	27,725
<b>II 評価・換算差額等</b>							
1. その他有価証券評価差額金	-	-	△3		-	-	0
評価・換算差額等合計	-	-	△3	0.0	-	-	0
<b>III 新株予約権</b>	-	-	20	0.0	-	-	-
<b>IV 少数株主持分</b>	-	-	128	0.2	-	-	-
純資産合計	-	-	20,149	31.6	-	-	27,725
負債・純資産合計	-	-	63,791	100.0	-	-	53,667

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成20年2月期 第3四半期		当四半期 平成21年2月期 第3四半期		増 減		(参考) 前期 (平成20年 2月期)
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額
I 売上高	-	-	57,727	100.0	-	-	50,085
II 売上原価	-	-	21,805	37.8	-	-	19,366
売上総利益	-	-	35,922	62.2	-	-	30,718
III 販売費及び 一般管理費	-	-	31,783	55.0	-	-	28,235
営業利益	-	-	4,138	7.2	-	-	2,483
IV 営業外収益	-	-	374	0.6	-	-	261
V 営業外費用	-	-	298	0.5	-	-	218
経常利益	-	-	4,214	7.3	-	-	2,526
VI 特別利益	-	-	1	0.0	-	-	324
VII 特別損失	-	-	998	1.7	-	-	466
税金等調整前 四半期(当期) 純利益	-	-	3,217	5.6	-	-	2,384
税金費用	-	-	1,493	2.6	-	-	1,067
少数株主持分損益	-	-	△10	△0.0	-	-	-
四半期(当期) 純利益	-	-	1,734	3.0	-	-	1,316

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成20年3月1日至平成20年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年2月29日 残高	9,545	8,560	9,672	△53	27,725
第3四半期連結会計期間中の 変動額					
新株の発行	5	5			11
剰余金の配当			△465		△465
四半期純利益			1,734		1,734
自己株式の取得				△9,000	△9,000
株主資本以外の項目の第3四半期 連結会計期間中の変動額(純額)					
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(百万円)	5	5	1,268	△9,000	△7,719
平成20年11月30日 残高	9,551	8,566	10,940	△9,053	20,005

	評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計			
平成20年2月29日 残高	0	0	-	-	27,725
第3四半期連結会計期間中の 変動額					
新株の発行					11
剰余金の配当					△465
四半期純利益					1,734
自己株式の取得					△9,000
株主資本以外の項目の第3四半期 連結会計期間中の変動額(純額)	△4	△4	20	128	144
第3四半期連結会計期間中の 変動額合計(百万円)	△4	△4	20	128	△7,575
平成20年11月30日 残高	△3	△3	20	128	20,149

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成20年2月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成21年2月期 第3四半期〕	(参考) 前期 (平成20年2月期)
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	-	3,217	2,384
減価償却費	-	1,640	1,466
固定資産除却損	-	427	40
減損損失	-	435	405
たな卸資産の減少・増加(△)額	-	99	△46
仕入債務の増加・減少(△)額	-	200	48
その他	-	577	△440
小 計	-	6,598	3,858
法人税等の支払額	-	△706	114
その他	-	△175	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	-	5,716	3,834
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期性預金の預入による支出	-	△14,000	△22
定期性預金の払戻による収入	-	9,026	-
有価証券の取得による支出	-	△1,000	△1,000
有価証券の償還による収入	-	5,000	-
有形固定資産の取得による支出	-	△4,642	△2,828
投資有価証券の売却による収入	-	-	1,351
短期貸付金の回収による収入	-	-	200
敷金及び差入保証金の預託による支出	-	△943	△609
長期前払費用の支出	-	△340	△109
その他	-	△3	1,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	△6,903	△1,516
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期借入れによる収入	-	16,200	-
長期借入金返済による支出	-	△3,866	△3,471
新株発行による収入	-	11	231
配当金の支払額	-	△465	△345
自己株式の取得による支出	-	△9,000	-
その他	-	450	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	3,329	△3,585
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額又は減少額</b>	-	2,142	△1,267
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	-	9,784	11,051
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	-	11,926	9,784

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当社グループは、寿司事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の合計額に占める割合がいずれも 90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

第3四半期連結会計期間中において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

第3四半期連結会計期間中において海外売上高がないため、該当事項はありません。